



これから、早寝早起きをして、朝食を食
べる時間をやしたいです。
夜はおかしを食べないようにします。

私はこのじぶんを食ける前
はうしろをかくてもおかしは
ほいになつて食べてしまったけ
ら、これからはきちんと朝食を食
てみたいと思います。

赤、緑、黄の食べ物をバランスよく食べて、
からだを丈夫にしたいです。
朝ごはんをいつも食べて、
夜は早く寝て、朝早く起きる習慣を
身につけたいです。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

プロジェクトへの関心を高めるため、6年生全員がキャッチコピーを考えることに挑戦し、応募をした。作品から、広島にはおいしい食べ物がたくさんあることに気付いた児童の姿も見られた。児童が考えたキャッチコピーを通信で紹介することで、他学年の児童や次年度への意欲付けを行った。また、夏休みには親子で参加をする「ふれあい料理教室」を行い、ひろしま給食からタコタコライス、ひろしまんぷく！シャキシャキサラダ、広島フルーツぶるるんゼリーをメニューに取り入れた。できるだけ広島県産の材料を使用し、それらを紹介することで、ひろしま給食の主旨や地場産物への理解を深めた。

呉市では統一献立として、10月19日にタコタコライスを実施し、各学級へひろしま給食の詳しい説明資料の配付と、給食時間の放送を活用して給食委員会の児童からお知らせをした。12月には豚肉と広島食材たっぷりの炒め物とひろしまんぷく！シャキシャキサラダも献立に取り入れた。児童からの給食おたよりでは、おいしかったと好評であり、広島の食べ物がたくさんあることが分かったなどの感想があった。料理教室で作ったことや、夏休み前にリーフレットを配布したことから、10月の食数調査期間より前にも家で作って食べている児童がかなり多くいた。



5 取組に対する成果と課題

【成果】

ほとんどの児童が朝ごはんの大切さを理解しており、早寝早起き朝ごはんキャンペーンでの生活記録では、97.1%の児童が朝ごはんを食べていた。新体力テストの質問紙調査では、朝ごはんを全く食べないと答えた児童は0.6%であり、キャンペーンでの様子でも毎日食べていないという児童はほとんどいなかった。

ひろしま給食に関しては、多くの児童が関心を持ち、ひろしま給食を食べることを楽しみにしている様子や、地場産物への理解が感じられた。

【課題】

早寝早起き朝ごはんキャンペーンでの生活調査では、1週間を通しての延べ回数で割合を出したため、1週間のうち1～2回程度欠食するという児童を含めると2.9%の児童が朝ごはんを食べていないという結果であった。時々欠食する児童が毎日食べることの大切さに気付くことができるように引き続き声かけや指導を行う必要がある。

3色揃った朝ごはんを食べている児童は、昨年度よりわずかに改善が見られたが、52.5%であり、目標の60%には達していなかった。実生活に結び付けるための取組が必要である。

6 今後の取組に向けた改善方策について

今後も早寝早起き朝ごはんの生活習慣の定着に向け、横路中学校区で連携して継続した取組を進めていきたい。また、バランスを考えた朝ごはんの大切さへの理解を深め、実生活での朝ごはんの内容を充実させる取組を工夫していきたい。また、より効果的な取組となるよう、学級活動での指導とキャンペーンの取組を連動させることや、キャンペーン終了後や学級活動の授業後にも意欲を継続させるための事後指導、家庭への効果的な啓発方法も検討していきたい。